

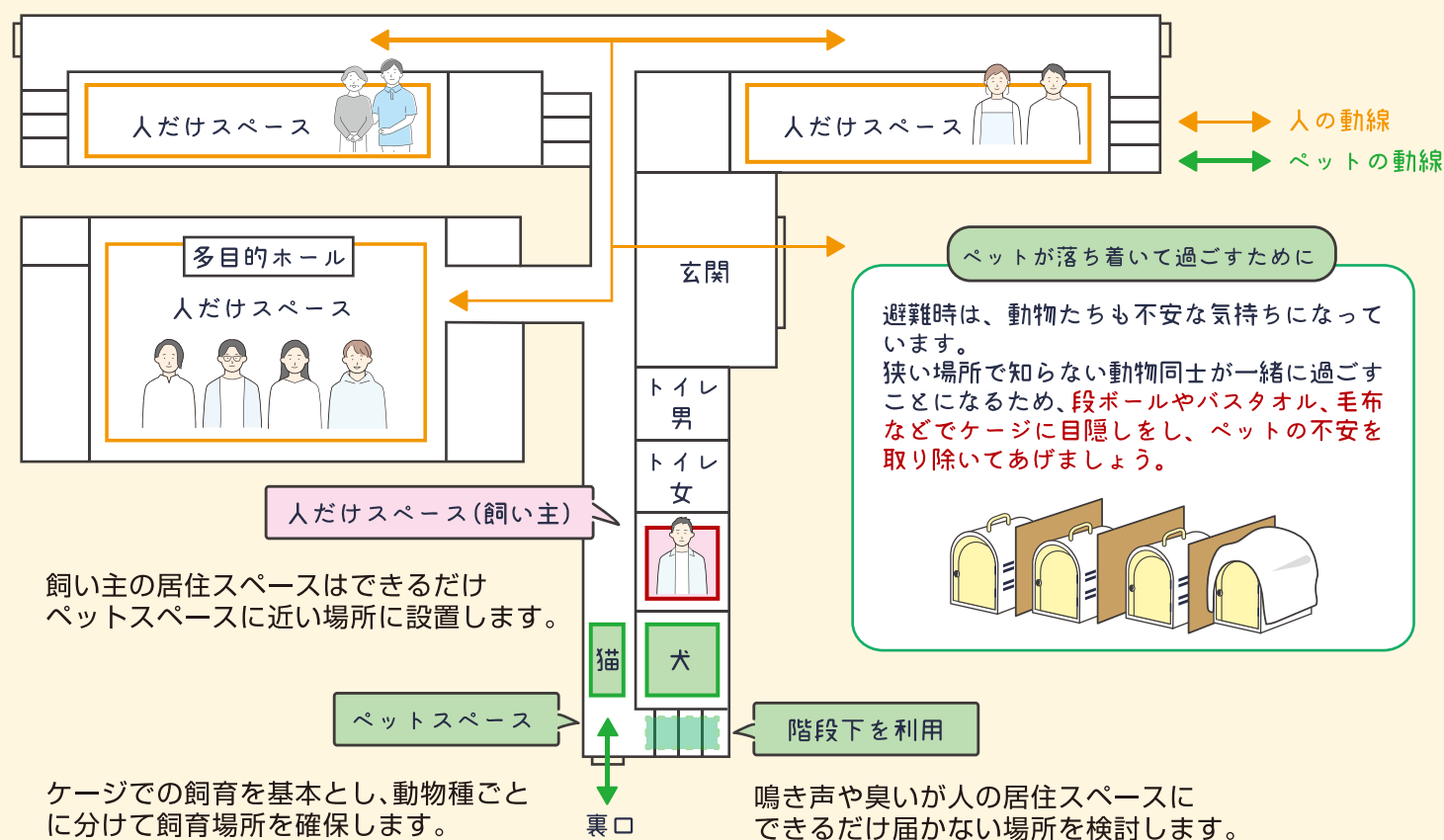
3 日頃の備え 運営者編

飼育スペースの検討《屋内》

- 居住スペースとして使用しない1室
- 裏口の風除室
- 倉庫
- 避難者動線と交わらない廊下、階段の踊り場、階段の下 など



ペットスペースでは、ケージでの飼育が基本です。(ケージは飼い主が用意)



避難終了後に臭いや汚れが残らないよう、ペットスペースにはブルーシートを敷いて養生しましょう。日常の清掃の際は、市販の塩素系漂白剤をつかって清拭すると消毒とともに消臭効果も得られます。

消毒液の作り方

【0.02%(200ppm)消毒液】

塩素系漂白剤(5%原液)を2ℓのペットボトルにキャップ2杯入れ、水を加えて2ℓにする。(200倍希釈)ペットボトルのキャップは1杯5mℓです。



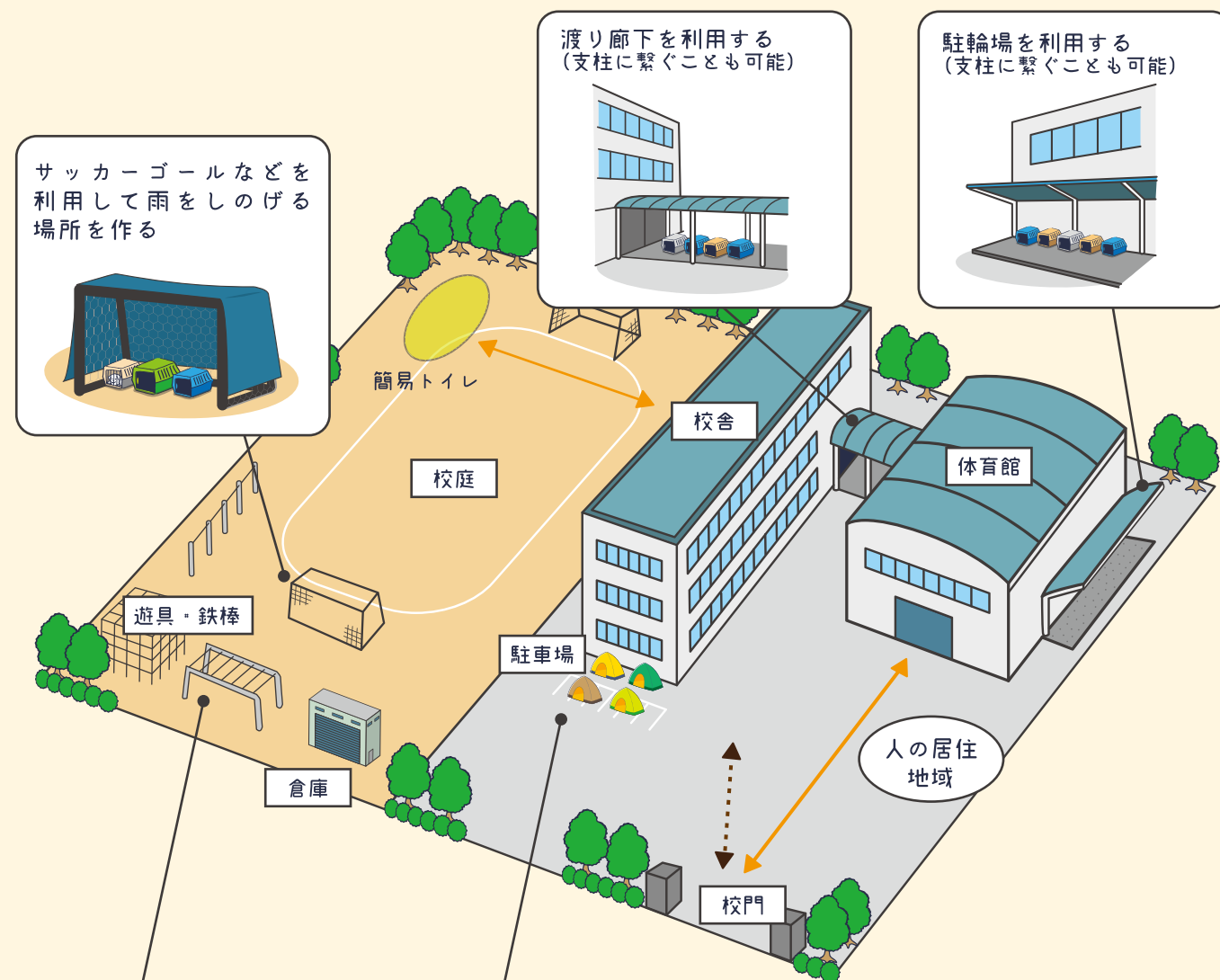
誤飲防止のため**消毒液と明示**しましょう

作り置きする場合は、アルミホイルで覆い遮光しましょう。

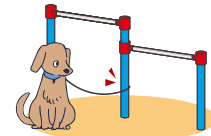
飼育スペースの検討《屋外》

- 駐輪場
- グラウンドの一角
- 渡り廊下
- 物置や車庫
- 建物の軒下 など

人の居住に向かなくても、ペットには有効に使える場所があります。



ケージがない場合、フェンスや鉄棒などの支柱を利用して繋ぐことも可能です



テントや車中泊

やむを得ずテントや車を利用してペットと同居する方も想定されます。飼い主は**定期的な運動や水分補給**を心がけて下さい。ペットにも水分補給をさせ、**熱中症**にならないよう注意します。

← 人の動き ← 車両の動き
付近にペットスペースを設置することは望ましくありません